

令和5年10月2日～3日

於・日本学術会議講堂

第189回総会速記録

令和5年10月3日（第2日目）

日本学術会議

目 次

1、開会 午前10時03分	2
1、定足数確認.....	2
1、会長による副会長指名及び就任挨拶.....	2
1、その他	4
1、散会 午前10時29分	9

[開会（午前10時03分）]

○光石衛会長 おはようございます。

これより、日本学術会議第189回総会の2日目を開始いたします。

[定足数確認]

○光石衛会長 事務局からの報告によりますと、本日の出席者は、現地出席が146名、オンライン出席が16名で、合計162名の出席をいただいております。ということで、定足数に達しております。

それでは、議事を始めさせていただきます。

[会長による副会長の指名及び就任挨拶]

○光石衛会長 まず、副会長の指名を行います。

副会長につきましては、日本学術会議法第8条第1項により、副会長3人を置くことと規定されており、副会長の選出については、日本学術会議法第8条第3項により、副会長は会員のうちから総会の同意を得て会長が指名すると規定されております。

この副会長の職務につきましては、日本学術会議会則第5条の規定により、次の三つの事項をつかさどることになっております。

- 1、学術会議の組織運営及び科学者間の連携に関すること。
- 2、学術会議と政府、社会及び国民等との関係に関すること。
- 3、学術会議の国際活動に関すること。というふうになっております。

以上を踏まえまして、次の3名の方を副会長に指名したいと思います。

1、組織運営及び科学者間の連携に関することを担当する副会長、第三部の三枝信子会員にお願いしたいと思います。

2、政府、社会及び国民等との関係に関することを担当する副会長といたしまして、第二部の磯博康会員にお願いしたいと思います。

3、国際活動に関することを担当する副会長、第一部の日比谷潤子会員にお願いしたいと思います。

以上3名の方について、総会の同意をいただけますでしょうか。同意をいただける場合には拍手をお願いいたします。（拍手）

[異議なし]

○光石衛会長 ありがとうございます。

それでは、第26期日本学術会議副会長は、御提案させていただいた3名の方に決定いたしました。

3名の皆様、どうぞ壇上にお越しく下さい。

引き続きまして、3名の副会長から御挨拶をお願いしたいと思います。

それでは、まず三枝副会長から御挨拶をお願いいたします。

○三枝信子副会長 おはようございます。第三部所属の三枝信子と申します。ただいま光石会長より、副会長の一人に指名を受けました。

私は、これまで第25-26期の会員として参加させていただきました。専門は、地球惑星科学及び環境学、特に地球環境などです。これまでは、分野別の委員会あるいはフューチャー・アースの推進と連携に関する委員会、国際委員会などのメンバーの一人として参加してまいりました。

今回の御指名のような仕事、大きな仕事は初めてですので、これから勉強して、微力ですが全力を尽くしたいと思います。

どうぞよろしく申し上げます。（拍手）

○光石衛会長 ありがとうございます。

続きまして、磯副会長から御挨拶をお願いいたします。

○磯博康副会長 第二部の会員の磯と申します。これで2期目になりますが、本日は、このような政府、社会、国民の対応に関する副会長に選任いただきましてありがとうございます。

昨日、自分の携帯を切っておりまして、パソコンもこの会場に忘れておりまして、多くの先生方に御迷惑をおかけしました。

私の専門は公衆衛生学、そして今は、国立国際医療研究センターのグローバルヘルス政策研究センターといったところで仕事をしております。私にとって非常に重責ですが、光石会長、皆様を支えながら、そして会員の皆様にも、この学術会議の活動がよく分かる、そして外にもよく分かるような形で尽力いたしたいと思います。

どうか、よろしく申し上げます。（拍手）

○光石衛会長 磯副会長ありがとうございます。1時間ほど前をお願いをして、快諾をいただいたということでございます。

それでは、最後に、日比谷副会長から御挨拶をお願いいたします。

○日比谷潤子副会長 国際担当の副会長を拝命しました日比谷潤子でございます。第一部の所属です。専門は、言語学です。

皆様、もう当然御承知のとおりですけれども、日本学術会議は、国を代表するナショナルアカデミーです。

昨日、残念ながら前任の高村副会長の御報告が、STSフォーラムに行っていたのでございまして、冊子に入っているものを御覧になっているかと思いますが、現在、日学は42の国際学術団体等に加入しております。

私は25期から会員になりましたが、第一部の幹事として、最後3か月は副部長として、そのうちの一つ、アースレックというアジアの社会科学の団体の仕事をするのをメインに、第一部の国際協力分科会の委員長をしておりました。

当たり前でございますけれども、これは日本の学術会議ですが、学術の世界は一国に閉じるものでももちろんなく、世界と協調して様々な問題を解決し、また対話と理解を深めていくということが大変に重要な使命とっておりますので、皆様からも、ぜひ御支援をいただいて、これから3年間、任務に邁進したいとっております。

どうぞよろしく願いいたします。（拍手）

○光石衛会長 日比谷副会長、ありがとうございました。

以上で、本日の総会の議事は終了いたしました。

本日の議事だけではなく、総会全般を通じ、御意見や御質問等がございます会員がいらっしやいましたら、挙手をお願いいたします。

【その他】

○磯博康副会長 すみません。今、副会長を拝命した前の会員として、意見というか、話題提供を申し上げたいと思います。

私は今期で2期目なのですが、いろいろな意味で、最初に、今回初めて会員になった先生方には、学術会議の仕事があまりにも膨大で、多岐にわたっていて、なかなか理解しにくいと思います。

その中で一つ、会長の互選ということで、昨日、会長が選出されて、すばらしい方に会長になっていただいて安堵しましたが、会長の選出の仕方は、この期で考えなければいけないなと思っております。

例えば、立候補制にして所信を出していただく。あとは、所信を出していない方が、昨日のように、何名か上位に上がった場合には、何分間かお話をしていただくということで、ここにいらっしやる会員の皆様が十分に、その先生方の意思を確認されて投票するということが非常に大事かと思っております。いろいろな御意見があると思いますが、今後とも、執行部の中で議論していきたいと思っております。

よろしく願いいたします。（拍手）

○光石衛会長 ありがとうございます。ただいま磯先生から、会長の互選の方法について御意見をいただきましたけれども、この点につきまして、何かほかの会員の方から御意見等はございますでしょうか。

どうぞ。

○宇山智彦会員 第一部の宇山と申します。

会長の互選の方法については、磯先生がおっしゃったことに完全に同感です。同じようなことが、これから行われる各部の部長などの互選についてもあると思います。

もし、現在の規則において、上位の方々が所信を述べるということが何かに違反しないのであれば、各部などで、今日にでも話し合っ、部長等の互選の際には所信を述べるというような方針を採用してもいいのではないかと思います。

以上です。

○光石衛会長 ありがとうございます。他には、いかがでしょうか。

会長だけではなく、部長の選挙についてもという御意見であったかと思えます。

1点、日本学術会議法第8条第2項に、会長の互選に関する事項が定められており、具体的な運用というのが細則で定められているということもあり、その規則にのっとってやらないといけないので、今日、部長の互選のところでそれができるかどうかというところは確かめないといけないということもあり、大変申し訳ないんですが、幹事会で議論をさせていただきたいなというふうに思っている次第でございますということで、この後、それに間に合うかどうかというのは、ちょっと事務局とも相談しますが、少し難しいかもしれないということでございます。

幹事会を開くためには、部長と副部長と幹事が決まらないと開けないという、なかなか、卵が先か、鶏が先かという問題のような気もしますがという状況なので、各部にお任せしますけれども、そういう状況であるということをお理解いただければと思います。

よろしいでしょうか。ほかに何か御意見、コメント等はございますでしょうか。

沖先生、どうぞ。

○沖大幹会員 ありがとうございます。今の所信で、選挙の前にはなかったわけですが、ぜひ、会長から所信表明があるといいんじゃないかなと思ひまして。それは例えば、先生が前の期で非常事態としてやっていたことに加えて、きちんとやらなければならないこととおっしゃいました。それをもうちょっと具体的に教えていただきたいと思ひます。この総会の後は、しばらくの間会員全体が集まる時間はありません。

ですので、先生から、やはり思ひを伝えていただくのがいいんじゃないかなと思ひましたのと、例えばバリアフリー化をするとか、やはり今までになかった観念を持ち込むといったことについても、この場でおっしゃっていただいたらいいかなというふうに思ひまし

たが、急だと無理かもしれないので、先生のお考えがもしあればというのと、もう少し具体的なことで申しますと、先生も参加されている在り方ワーキンググループで、政府の方針がどうなるか。もし、日本学術会議として何か重要な決断をしなきゃいけないというタイミングが、年内あるいは年の初めにありそうであれば、ぜひ、早めに、臨時総会がこの辺でありそうだというのを私たちにお伝えいただければというふうに思いますので、そこをよろしく願いいたします。

以上です。

○光石衛会長 ありがとうございます。私が知っている範囲で申し上げますと、政府は、来年度予算は大体年末に議論するという事になっていきますので、それまでに何らかのことが決まればというふうに思っているのではないかなというふうに思います。

在り方ワーキングというのが、前期の終わり頃、9月ぐらいから開催されていますけれども、これは政府内の組織として存在するのがいいのか、あるいは、もう少し独立した形、法人化みたいな形で存在するのがいいのかという、いろんなことをケーススタディしておくということで、いろいろ意見を交わしていて、勉強会をしているというふうに思っただけであればいいかと思えますけれども、そういったものがされているという状況だと思います。

ということで、今現在、いつ、例えば臨時総会をやるのかということは分かりませんが、もう秋になっていますけれども、11月下旬とか12月の初めぐらいに、何らかの決断をしないといけない可能性もないことはないかなというふうに思っているところでございます。

それから、所信表明演説をなさうということではあるんですが、昨日も少し申し上げたと思うんですが、バリアフリー化とかはやらないといけないことで、当然ながらやるとして、それ以外のところでどうかということなんです、会員問題とか、任命問題とか、それから会員の選出も含めて、それから在り方等々もあるんですが、今、世の中から、タイムリーな情報発信というのが大変求められているかなという気がいたしますので、これは恐らく、やっていく必要があるのかなというふうに思っているということです。一方で、意思の表出は、かなりプロセスがちゃんと決まったというか、前期に決められていますので、それとの兼ね合いも含めて、どのようにこれからタイムリーにいろんな情報発信をしていけるのかなというところは、タイムリーにできるように努めていきたいなというふうに、私としては思っているところであります。

というので、お答えになっているかどうか分かりませんが、よろしく願いいたします。

小林先生。

○小林武彦会員 どうも、お世話になっています。二部の小林でございます。どうぞよろ

しくお願いいたします。

私は継続で、25期からやっています。25期のときに、アカデミーの在り方をかなり議論したと思います。各国のアカデミーと比べて、一番、日本のアカデミーが違うなと思ったのは、任期制と定年制だったと思います。そこが、日本のアカデミーは非常に厳しくて、政策とか、継続性みたいところが弱くなってしまっています。半分が3年に1回入れ替わるので。

それで、この間の新会員の選考のときに思ったんですけども、年齢制限で、この人を選んだらいいのになという候補者が、選べない場合がたくさんあったんですね。だから、そういうところも、今から3年ありますので、アカデミーを強くするという方向で、方策を考えていただけたらと思います。

以上です。

○光石衛会長 ありがとうございます。

そういう意味で、在り方もタイムスケールで考えると、大きく分けて2段階あるかなというふうに思うんですが、一つは、先ほど申し上げましたように、政府からの対応ということで、もしかすると、それは今年の年末までに起こるかもしれないということと、それから、今あるやり方、いろんなことのやり方です。これを変えていこうと思うと、またこれは、かなり大きな議論になるかなというふうに思いますので、そこは、多少時間がかかるかなというふうに思っておりますというところで、先ほど提案いただいたことは、どちらかという長いほうのことに関する事かと思っておりますので、そこは、これから皆さんの御意見もいただきながら議論を進めていければなというふうに思います。

ほかは、いかがでしょうか。

どうぞ。

○美馬のゆり会員 今期から会員になりました美馬でございます。

今回、会長選も含めて、いろいろ初めてということで、疑問も生じたり、こうした方がよいのではないかと思うようなことが幾つかございまして、それをこういった場で、今、全員がいる場でお時間をとるというよりは、今後、気づくことがありましたら、どこにどのような形で言う場があるのかを教えていただければと思います。

というのは、これで、半年、また1年たつと、こういう新しい気づきというのも消えてしまうような気がして、ぜひとも、そういう意見を届ける場を設けていただければ、あるいは、あるのでしたら教えていただきたいと思います。

よろしくお願いいたします。

○光石衛会長 御提案いただきましてありがとうございます。

私のところにと言いたいところではあるんですが、私もメールをいっぱいいただい

ますので、見逃すかもしれませんので、事務局から、どこに意見をいただければいいかということの後で、後ほどお伝えするということによろしいでしょうか。

○美馬のゆり会員 分かりました。皆さんにお伝えいただければと思います。

よろしく願いいたします。

○光石衛会長 ありがとうございます。ほかは、いかがでしょうか。

半年に1回になるかもしれないんですが、でも、やはり皆さん、コロナの間にZoomで議論しても何となく物足りないところがあったと思うんですが、そういう意味では、ここの総会の場というのは、やはり大変貴重ですので、有意義に、効率よく議論できればいいかなというふうに思っておりますので、ぜひ、よろしく願いいたします。

ほかは、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

そうしましたら、事務局のほうから、連絡事項をお願いしたいと思います。

○企画課長 それでは、事務局から連絡事項を申し上げます。

まず、この後の予定についてお知らせいたします。

10時半から予定しておりましたが、ちょっと総会の方が長引きましたので、午前10時40分からとさせていただきますと思いますが、5階または6階の大会議室におきまして各部会を開催いたします。各部ごとに部長の選出、副部長、幹事お二人の指名、委員会等に所属すべき委員の検討などを議事として予定しております。10時40分からお願いいたします。

その後、16時から各会議室におきまして地区会議を開催いたします。各地区ごとの地区会議が各会議室においてございます。ここでは、各地区会議ごとの代表幹事、運営協議会の選出を行います。よろしく願いいたします。

その後、17時から2階の大会議室におきまして幹事会を開催いたします。幹事会は日本学術会議の運営に関する事項を審議させるために置かれる機関でございます。会長、副会長、各部の部長、副部長及び幹事となられた方、合計16名の方で組織されます。これらの役職に就かれた方は御出席いただきますよう、お願いいたします。各部会で議題となります委員会委員の承認についての議事などを予定しております。

本日は以上でございます。

次に、明日の予定についてお知らせいたします。

明日は、午前10時から、または13時30分から、5階または6階の各会議室等におきまして各分野ごとの分野別委員会をそれぞれ開催いたします。別途、調整させていただいておりますとおり、この時間に開催する分野別委員会委員に決定された先生方は御出席をお願いいたします。各分野別委員会ごとに、役員を選出などについての議事を予定しております。

また、明日の15時30分から2階の大会議室において幹事会を開催いたします。

それぞれの会議室の場所については、お手元の資料の参考資料5というのがございますので御参照ください。

なお、席上に残された資料につきましては、この後こちらで破棄をいたしますので、御入用の場合は、資料をお持ち帰りくださいますよう、お願いいたします。

最後でございますが、忘れ物が昨日ございました。眼鏡を忘れられた方がいらっしゃるようでございます。眼鏡の方は、二部の後方の席にございましたので、お心当たりの方は事務局までお願いいたします。また、帽子を忘れられた方もいらっしゃるようでして、こちらは受付付近での落とし物でございます。こちらもお心当たりの方がいらっしゃいましたら、事務局までお願いいたします。

以上でございます。

○光石衛会長 何か質問とかありますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、以上で総会を終了いたします。議事進行に御協力いただきましてありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

[散会（午前10時29分）]